

市政担当記者 各位

令和元年 7月29日
環境局・総務企画局

福岡市発祥

国際ビジネス展開プラットフォーム

～国際貢献を通じたビジネス展開～

ヤンゴン市ごみ埋立場の「福岡方式」整備事業の着工式が開催されます！
地場のプラットフォーム会員企業が事業に参画します！！

福岡市では、国際貢献を通じて市の知名度や存在感を高めるとともに、官民連携も含めた事業展開を目指しています。

この度、姉妹都市であるミャンマー国・ヤンゴン市において、国連ハビタット福岡本部と共同で実施する同市テインビン埋立場の「テインビン埋立場」整備事業の着工式が開催されます。

本事業の実施については、平成31年2月21日に、高島市長が、ヤンゴン市副市長、国連ハビタット福岡本部長とともに共同発表しており、今回の着工式を契機に、同事業が本格的に始動いたします。

- ◆福岡市としては、初のODAを活用した海外における施設整備案件となります。
- ◆同事業は、ヤンゴン市側の期待も高く、都市の発展に大きく寄与するものです。

■日 時：令和元年8月7日（水） 10:00～（1時間程度）

（別途、重機運転のデモンストレーションなど現場説明会を30分程度予定）

■場 所：ミャンマー連邦共和国ヤンゴン市テインビン埋立場

■出席者：国連ハビタットミャンマー事務所長

ヤンゴン市長

駐ミャンマー日本国特命全権大使

福岡市中村副市長

■次 第：主催者（国連ハビタットミャンマー事務所）挨拶，来賓挨拶，着工セレモニー，事業概要説明，写真撮影

※着工式当日の様子については、後日お知らせいたします。

なお、本事業には、国際貢献を通じて官民連携で海外ビジネス展開を目指す「福岡市国際ビジネス展開プラットフォーム」の地場会員企業である「大成管理開発株式会社」様が参画されることになりました。

福岡市は、これまで蓄積してきた、まちづくりのノウハウとヤンゴン市との信頼関係を活かし、引き続き、地元企業の海外ビジネス展開を支援して参ります。

【お問い合わせ先】

（着工式・事業全般に関すること）

環境局環境政策部環境政策課 尾上，中村

TEL：733-5383（内線2410），FAX：733-5592

（国際ビジネス展開に関すること）

総務企画局国際部国際協力課 橋本，中村

TEL：711-4968（内線1328），FAX：733-5597

参考資料

✦ 福岡市によるヤンゴン市への技術協力の経緯 (★今回発表の「福岡方式」整備事業関係)

2014年 5月	まちづくり協力・支援に関する覚書締結
2016年 12月	姉妹都市締結
2018年 1月	既存埋立場の福岡方式への改良(400m ²)
2019年 2月	★日本国政府と国連ハビタットの交換公文の署名 ★共同記者発表 【添付参照】 (福岡市長-国連ハビタット福岡本部長-ヤンゴン市副市長)
2019年 3月	小規模埋立場の整備(パイロットプロジェクト:1ha)

✦ ヤンゴン市ごみ埋立場(テインビン埋立場)の「福岡方式」整備事業

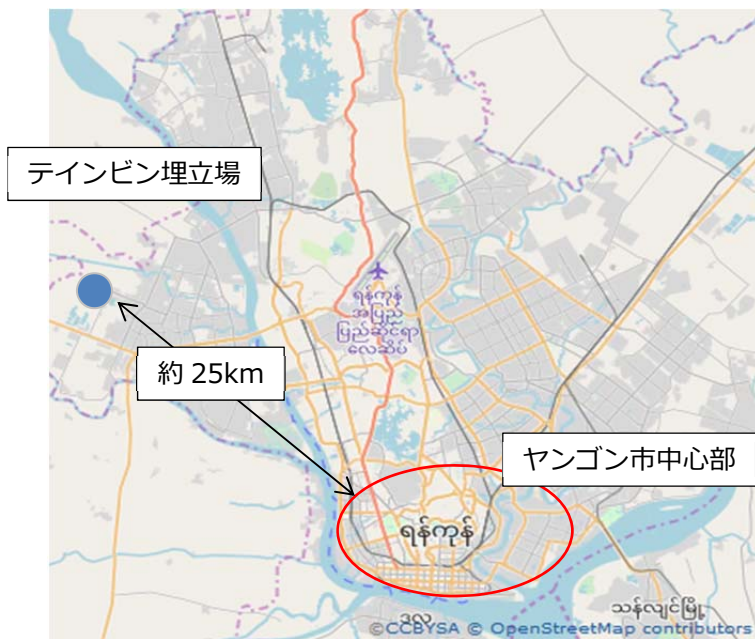
2018年に大規模な自然火災が発生したヤンゴン市最大のテインビン埋立場において、日本国政府による国際機関を通じた無償資金協力(ODA)の資金を活用し、ミャンマー国内で初めてとなる「福岡方式」埋立場の整備を行うもの。

■事業期間: 2019年～(2年間を予定)

■総事業費: 約6億円

■事業内容: 火災防止対策, 既存埋立場の改善及び新規埋立場の設計・整備等

✦ テインビン埋立場の位置と状況



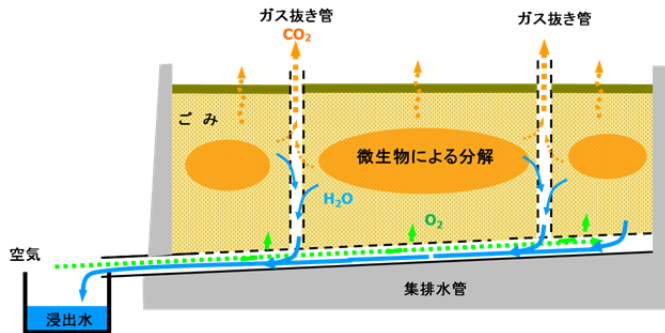
✦ ごみ埋立技術「福岡方式」について

<福岡方式とは>

- 福岡大学と福岡市が共同開発した安全かつ持続可能なごみ埋め立て技術
- 通気により微生物によるごみ分解を促進し、悪臭・汚水や発火の原因となるメタンガスの発生を抑制。
- 嫌気性ごみ埋立(ごみの野積み)と比較し、温室効果ガスを50%以上削減
- 福岡方式による福岡市の埋立施設への視察見学者は世界各国から70カ国を越える

<福岡方式の特徴>

- ①**早期安定化** →ごみの分解を促進し、跡地の早期利用が可能
- ②**ローコスト** →整備費用が比較的安価
- ③**シンプル** →構造的に単純で、複雑な設備が不要

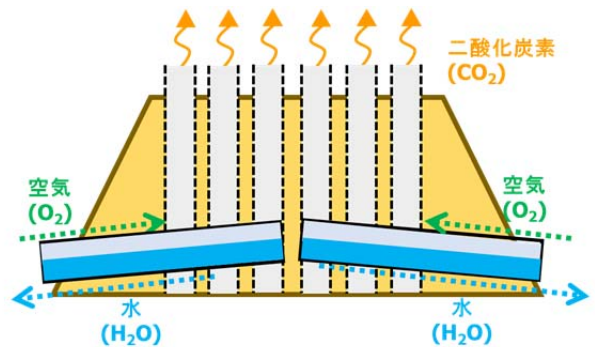


ごみの野積み(嫌気性埋立)



※メタンは二酸化炭素と比べて 25 倍の温室効果をもたらす

福岡方式(準好気性埋立)



大成管理開発株式会社の「福岡方式」整備事業への参画について

大成管理開発株式会社は、福岡市が2014年から実施してきたヤンゴン市における「福岡方式」に関する技術協力にも貢献頂いています。

「福岡方式」整備事業へは、ティンビン埋立場の現場における技術指導(整備・維持管理)を担うこととしております。

《参考》会社概要

■企業名：大成管理開発株式会社

■本 社：福岡市中央区那の津 3-15-17

※1967年設立。主に廃棄物最終処分場の維持管理・収集運搬等の業務を行い、埋立技術等を習得した職員が多数在籍している。また、JICA等の国際機関と協力し発展途上国の最終処分場改善のため、国内研修の講師や現地に職員を派遣する等、技術協力を行っている。

福岡市政記者 各位

ヤンゴン市ごみ埋立場の「福岡方式(準好気性埋立構造)」による整備について

福岡市では、姉妹都市であるミャンマー国・ヤンゴン市において、ごみ埋立場で生じるメタンガス(可燃性ガス)の発生を抑制するごみ埋立技術「福岡方式」に関する技術協力を 2014 年から実施しています。

昨年、同市テインビン埋立場で、メタンガスに起因する大規模な自然火災が発生したことを受け、日本国政府・ヤンゴン市と「福岡方式」の早期整備に向けた協議を重ねた結果、今回、日本国政府による国際機関を通じた無償資金協力(ODA)の資金を活用し、世界の開発途上国の居住環境の改善活動を進める「国連ハビタット福岡本部」と共同で、ヤンゴン市テインビン埋立場の「福岡方式」整備に取り組むこととなりました。

- ◆本整備により、ヤンゴン市最大の埋立場が福岡方式に生まれ変わります。
- ◆ミャンマー国内に「福岡方式」埋立場が整備されるのは初めてで、同国全土への展開に向け、ミャンマー政府から注目されている事業です。

《事業概要》ヤンゴン市ごみ埋立場(テインビン埋立場)の「福岡方式」整備事業について

- 事業期間：2019 年 4 月～(2 年間で想定)
- 総事業費：約 6 億円
- 整備対象：約 60ha(既存埋立場の改善：約 36ha, 新規整備：約 24ha)
- 実施主体：国連ハビタット(事業施行、現地調整など)
福岡市(「福岡方式」導入に関する技術支援など)
※福岡の民間企業のノウハウの活用や、大学との連携を予定

《テインビン埋立場の状況》



野積み状態のごみ



大規模火災発生

《「福岡方式」とは》

- ・福岡大学と福岡市が共同開発した安全かつ持続可能なごみ埋め立て技術
- ・通気により微生物によるごみ分解を促進し、悪臭・汚水や発火の原因となるメタンガスの発生を抑制
- ・嫌気性ごみ埋立と比較し、温室効果ガスを 50%以上削減
- ・福岡方式による福岡市の埋立施設への視察見学者は世界各国から 70 カ国を超える

《他国の事例》



1.改善前の様子



2.福岡方式による整備



3.整備後の植生回復



浸出水の改善

【問い合わせ先】

(事業の実施に関すること)

福岡市環境局環境政策課 担当：鎌, 松田 電話：733-5381 (内線 2402) FAX：733-5592
国連ハビタット福岡本部 担当：星野, 大隈 電話：724-7121 FAX：724-7124

(国際貢献・協力の案件形成に関すること)

福岡市総務企画局国際協力課 担当：橋本, 安室 電話：711-4051 (内線 1329) FAX：733-5597